

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム さくら2号館

目標達成計画

作成日: 令和6年 10 月 20 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	14	食事中のタオルの前掛けは、恒常的になると尊厳を無視する意識を養うことになりかねない為、「他の方法はないか」「必要としない人はないのか」を改めて検討することを期待します	個人の食事形態、食事風景を観察して、1人1人にあった方法を探る。また、本人の希望も考慮して無理に行わないよう工夫をする。	個々の食事風景(食べこぼしなど)を観察して本人の了解を取ってからタオルの前掛けなどをする。	12ヶ月
2		「理念に基づく目標をつくり、それを事務所に掲示して、お互いに理念が実現できる(＝自身の課題が解決する)」といった、相互支援の仕組みが生まれることを期待します	理念に対しての目標を設定し、お互いに課題解決にみけて取り組む。	スタッフ会議で議題にあげ、目標を決め課題を解決する。また、達成できたかの反省を行う。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。